

報道関係各位

2009年12月21日

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

## 「アスリートイメージ評価調査」2009年総括特別編

### ～2009年最も活躍したアスリートは石川遼、横峯さくら～

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:佐藤孝 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:萩原徳正 以下博報堂DYスポーツマーケティング)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2009年総括特別編を行いました。

「2009年に最も活躍した」男性アスリートは、1位に石川遼(ゴルフ)、2位にイチロー(野球)、3位に松井秀喜(野球)(敬称略、以下同)。女性アスリートでは、1位に横峯さくら(ゴルフ)、2位に安藤美姫(フィギュアスケート)、3位に浅田真央(フィギュアスケート)となっており、今年活躍した代表するアスリートがランキングされる結果となりました。

そして、「2009年に最も注目度が増した」男性アスリートは、1位に石川遼(ゴルフ)、2位にイチロー(野球)、3位に松井秀喜(野球)。女性アスリートでは、1位に安藤美姫(フィギュアスケート)、2位に横峯さくら(ゴルフ)、3位に浅田真央(フィギュアスケート)という結果となっています。

男性アスリートでは、「2009年に最も活躍した」「2009年に最も注目度が増した」とともに石川遼が1位となっており、圧倒的な支持を受けていると言えます。

また、「2010年に最も活躍が期待できる」男性アスリートでは、1位に石川遼(ゴルフ)、2位にイチロー(野球)、3位に高橋大輔(フィギュアスケート)。女性アスリートでは、1位に浅田真央(フィギュアスケート)、2位に安藤美姫(フィギュアスケート)、3位に宮里藍(ゴルフ)という結果となりました。バンクーバーオリンピックを来年に控え、フィギュアスケートの注目度が高いと言えます。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

## ■主な調査結果

1) “2009年に最も活躍した”男性アスリートには、「石川遼」「イチロー」「松井秀喜」

今年突出して良い結果を出し、活躍し続けているアスリートがランキングされています。

1位： 石川 遼(ゴルフ)

2位： イチロー(野球)

3位： 松井 秀喜(野球)

4位： 白鵬(大相撲)

5位： 織田 信成(フィギュアスケート)

2) “2009年に最も活躍した”女性アスリートには、「横峯さくら」「安藤美姫」「浅田真央」

若手台頭の中でクルム伊達公子の活躍が目を引きます。

1位： 横峯 さくら(ゴルフ)

2位： 安藤 美姫(フィギュアスケート)

3位： 浅田 真央(フィギュアスケート)

4位： 宮里 藍(ゴルフ)

5位： クルム 伊達公子(テニス)

3) “2009年に最も注目度が増した”男性アスリートには、「石川遼」「イチロー」「松井秀喜」

アスリート自身の活躍のみならず、その競技の人気向上に貢献したと思われるアスリートがランキングされています。

1位： 石川 遼(ゴルフ)

2位： イチロー(野球)

3位： 松井 秀喜(野球)

4位： 池田 勇太(ゴルフ)

5位： 高橋 大輔(フィギュアスケート)

4) “2009年に最も注目度が増した”女性アスリートには、「安藤美姫」「横峯さくら」「浅田真央」

華やかなイメージで、競技の人気向上にも貢献したと思われるアスリートがランキングされています。

1位： 安藤 美姫(フィギュアスケート)

2位： 横峯 さくら(ゴルフ)

3位： 浅田 真央(フィギュアスケート)

4位： 宮里 藍(ゴルフ)

5位： キム・ヨナ(フィギュアスケート)

5) “2010年に最も活躍が期待できる”男性アスリートには、「石川遼」「イチロー」「高橋大輔」  
今年突出して良い結果を出し、夢と感動を与えてくれたアスリートが来年も大きく期待されています。

- 1位： 石川 遼(ゴルフ)
- 2位： イチロー(野球)
- 3位： 高橋 大輔(フィギュアスケート)
- 4位： 織田 信成(フィギュアスケート)
- 5位： ダルビッシュ 有(野球)

6) “2010年に最も活躍が期待できる”女性アスリートには、「浅田真央」「安藤美姫」「宮里藍」  
若手のアスリートの活躍、バンクーバーオリンピックを控えたウィンタースポーツへの期待も伺えます。

- 1位： 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位： 安藤 美姫(フィギュアスケート)
- 3位： 宮里 藍(ゴルフ)
- 4位： 横峯 さくら(ゴルフ)
- 5位： 上村 愛子(スキー)

#### ■調査概要

- ・調査方法： Web 調査
- ・調査地区： 首都圏+京阪神圏  
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者： 対象エリアに在住の15~69歳の男女
- ・有効回収サンプル数： 600サンプル
- ・調査期間： 2009年12月4日~12月8日

#### ■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ	広報グループ	舟橋・加藤 03-6441-9347
	スポーツ事業局	武藤 03-6441-9622
	メディア・コンテンツソリューション局	大足 03-6441-9772